

2025
(令和7)年
12月号

<http://www.betsuin.jp/>
別院ホームページ



響け念仏 北の大地に

本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・石川勝紀

別院公式LINE



報
恩
講

今年の報恩講は11月13日(木)の竜谷保育報恩講に始まり、16日(日)の満日中まで、

4日間、合わせて12座のお勤めがありました。

ご講師には東京教区茨城西組西光寺住職

で本願寺派勸学の相馬一意師に出向いただけきました。相馬師は報恩講を通して「誓願一

仮乗のみ教えを味わう」と題してお話しされ、

連日ご参拝の皆さんはうなずき、お念佛し

てお聴聞されていました。

竜谷保育報恩講は、園児たちが讃歌・献灯・

献花・奉讃文・おつとめ・おやくそくを唱和し、輪番のご法話を聞きました。その後、マジシャン「がっしー」さんのマジックショーがあり、園児たちは立ち上がり、身を乗りだして楽しい時間を過ごしました。

お野菜等をご進納された方々



梶原 雅仁様 谷 口 芳佐様
野原 ひとみ様 伊藤 篤二様
堀 武様 西田 利文様
野村 美恵子様 青山 誠治様
大井 みさ様 茂古沼利明様
西田 金雄様 下林 美代子様
藤村 由恵様 関谷 光丸様
ありがとうございました (順不同)

令和6年能登半島地震により
被災された皆さまに
衷心よりお見舞い申し上げます

12月のご案内

1日(月) 2日(火) 13時半〈講堂〉
13日(土)~16日(火) 〈本堂・講堂〉
15日(月)~16日(火) 13時 〈本堂〉
23日(火) 7時 〈本堂〉
31日(水) 23時半 〈本堂〉

1月のご案内

1日(木) 9時 〈本堂〉
13日(火)~16日(金) 〈本堂・講堂〉
15日(木)~16日(金) 13時 〈本堂〉

月例布教
常例布教
宗祖月忌法要
おすすめ払い
除夜会

元旦会
常例布教
宗祖月忌法要

※12月27日(土)~1月14日(水)の月忌参りはお休みさせていただきます。祥月・中陰参りはうかがいます



報 恩 講

今年も無事に報恩講がつとまりました。写真で振り返ります。



ご法話



師走の忙しい中で

文・伊澤裕真

今年もあとわずかとなりました。一年の締めくくりにあたって、ご自身のお念佛生活について、振り返つてみませんか。

お念佛とは、阿弥陀さまのみ名を「南無阿弥陀仏」と称えることです。

親鸞聖人はお念佛には「自力の念佛」と「他力の念佛」があるとされました。自力の念佛とは、念佛を自分のおこないとみなし、自分の力や業績のようになるとらえて、それによってより良い往生をしたいとする考え方です。

しかし聖人は、阿弥陀さまの本意は、他力の念佛のほうだといわれます。

他力の念佛とは、阿弥陀さまの本願を信じ、南無阿弥陀仏をとなえ、そのはたらきにすべてを委ねるお念佛です。阿弥陀如来の本願とは、煩惱にまみれ迷いを深める悪い行いしかできないような者をこそ、必ず救おうとされるはたらきです。親鸞聖人は次のように詠されました。

無明長夜の灯炬なり
生死大海の船筏なり
智眼くらしとかなしむな
罪障おもしとなげかざれ

『正像末和讃』註釈版606頁

この一年、お念佛で開運を願つたり、悪いことをチャラにしたいとお念佛したこと、ありませんか。逃げまどい、かなしみ、なげく私を追いかけ、「わかれにまかせよ、必ず救う」とはたらき続けてくださっている阿弥陀さまに抱かれていることを、師走の忙しさの中でも忘れないようにしましょう。

永代経懇志ご進納

〔進納日 10月15日～11月14日〕

12月オススメの一冊

『じぶんの花を』

相田みつを著/文化出版局刊
A4変形判/86頁
1815円(税込)

孤独だな、自分に自信がもてないな、なかなかやる気がでないな、そのような時におすすめしたい一冊です。

「……生きる時間がそのまま時間 生きた時間がそのままのち……どういう時間を作りながら生きるか? それを決めるのは、だれでもない「いつでもこの自分!!」」(「松も時なり竹も時なり——いのちと時間」より)

読んでいると、誰かに認めてもらう必要はない、

わたしで良かった、「じぶんの花」を育てる時間を大切にしたい、と思えてきます。

年の瀬には、じぶんのために時間をつくり、じぶんの花をじっくり見つめてみませんか。(松原)



常例布教ご講師紹介

◆12月13日(土)～16日(火)13時

吉川 恭 師

(山陰教区千須賀組永照寺)

2026(令和8)年

◆1月13日(火)～16日(金)13時

佐々木了俊 師

(東京教区多摩組明西寺)

◆2月13日(金)～16日(月)13時

山田教尚 師

(東海教区鎌鹿組存仁寺)

15日と16日は宗祖月忌法要に引き続き、本堂で布教します。それ以外は、講堂でおこないます。

皆さまのお参りをお待ちしています。

年末年始のご案内

おすす払い 12月23日(火)7時

除夜会 12月31日(水)23時半

元旦会 1月1日(木)9時

防寒対策をしてお越しください。

お寺で七五三

「めぐみのつどい」

11月8日(土)、帶広別院本堂で初

めでとなる七五三のお祝い「めぐみのつどい」が執り行われました。

晴れ渡る秋空のもと、3歳、5歳、7歳を迎えたお子さまが華やかな晴

れ着に身をつつみ、ご家族とともに

お参りされました。

受付を終えたご家族から順に仏さ

まと記念撮影し、皆さんもいっしょ

とお祝いしました。

式典のあとは、本堂や境内で写真

を撮るご家族の笑顔があふれ、穏や

かで温かな雰囲気につつまれました。

別院ではこれからも地域のお寺

として、多くの方に喜んでいただき、

家族の絆と地域のつながりを育む場

となるよう、新た

な取り組みを進め

てまいります。



に「らいはいのうた」のお勤め、石川輪番からお祝いの言葉、記念証書、飴の花束が授与されました。

自他ともにたいへんがけんり
せつな言葉紹介
しょぎょう むじょう
人我兼利

諸行無常「釈尊」

石川輪番は、「七五三おめでとうござります。お子さまの健やかなご成長を仏さまに報告し、ともに慶ばせていただきました。今後も人生の節目の慶事にお寺にお参りください」とお祝いしました。

これは、お釈迦さまが説かれた根

本的な三つの真理「三法印」の一つです。簡単に記すと、すべての物事

や現象は、絶えず変化してとどまる

ことがないという意味です。◆私た

ちを取り巻く社会や地球環境は、留

まることなく移り変わります。しか

し私たちは、変化に気づくことがで

きないことも多いです。川の水面を

見ると同じせせらぎに見えますが、

常に新しい水が流れ続けていて、と

どまつてはいません。◆私たちは変

わりゆくことに対応できていない、

あるいは変化に弱いのかと思います。

それが「無明（おろかさ）」といわれ

る煩惱の所業かと思います。年の瀬

を迎えますが、変わることのないお

念仏のお心をいただきながら、新た

な年を迎えるたいと思います。（石川）